STATUS: ACTIVE | SYS_AUTH: MARUMATSU

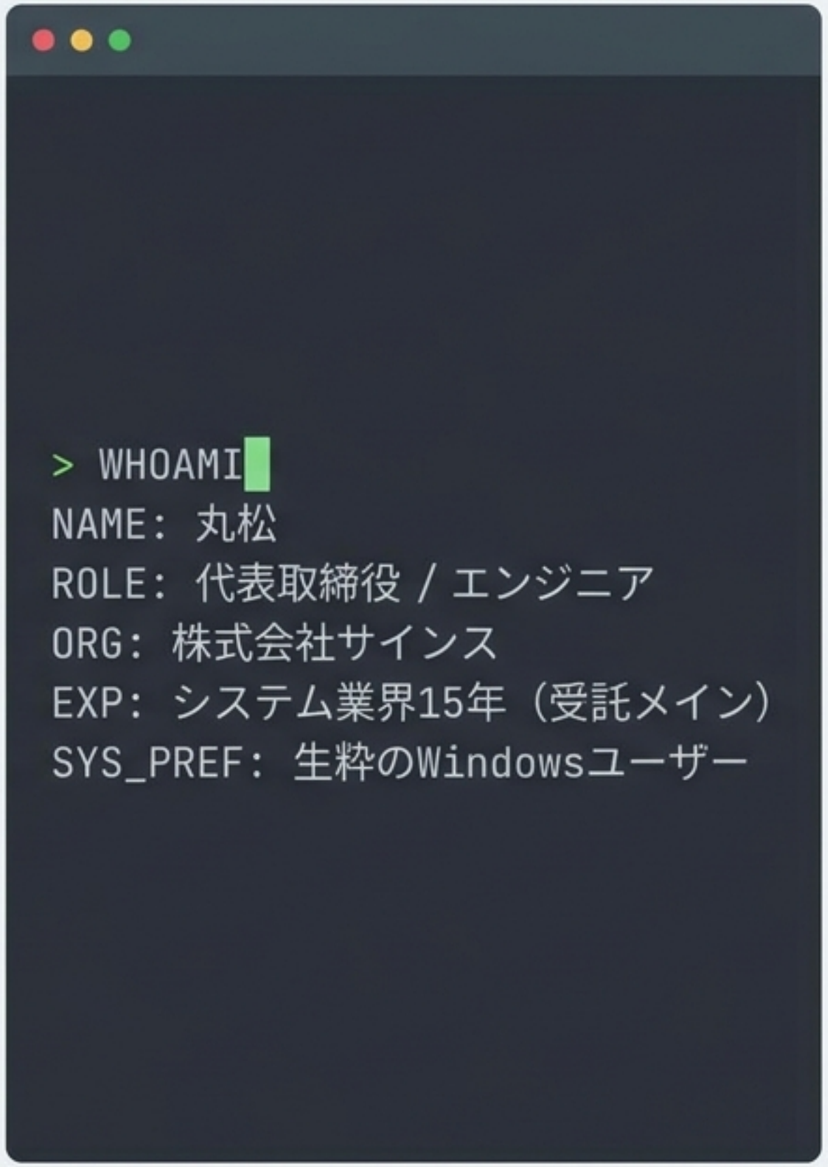
実践的AIエージェント導入ログ

検索から自律実行へ。社内業務と開発プロセスを刷新する「Claude Code」活用シナリオ。

株式会社サインス代表による、AIエージェントの実務投入記録。単なるテキスト生成を超え、プロトタイプ開発（LMS）からバックオフィス業務の完全自動化、そして自律型AIの暴走インシデントとその制御に至るまで、生々しい「現場のAI活用」を構造化して解説する。

15年のシステム開発経験と、AIの「真の用途」への到達。

「作る側」であるIT業界に長く身を置きながらも、長らくAI活用の波に乗り遅れていた。しかし、Anthropicのアップデートを機にAIの捉え方が劇的に変化。AIは単なる「賢い検索エンジン」から、実務を自律的にこなす「実行エージェント」へと進化した。



The Evolution of AI Utility: 検索から自律実行へ

PHASE 1: 2020~	PHASE 2: 2023~	PHASE 3: 2024~（現在）
役割: 高度な検索エンジン	役割: 生成アシスタント	役割: 自律型エージェント（Claude Code）
主な用途: 情報収集、疑問解消	主な用途: 提案書の作成、テキストのドラフト生成	主な用途: システム開発、バックオフィス業務の完全自動実行
主体: 人間が調べ、人間が実行する	主体: AIが下書きし、人間が清書・実行する	主体: AIがコードを書き、業務を自律実行する

「綺麗な指示書」は全く不要。

- 完璧な要件定義やプロンプトエンジニアリングは不要。
- 「こんな感じのを作って」という雑な指示でも、エージェントAIは文脈を解釈して実行する。
- 労力配分：AIが全体の70%を一気に構築し、残りの30%の細かなチューニングを人間が行う。

effort_matrix.config

```
[INPUT] 雑な指示・大まかな要件
                ||
                \/
[AI_EXECUTION] 70% ベース構築
  - インフラ設定
  - コアロジック
  - 基本UI
                ||
                \/
[HUMAN_TUNE] 30% 最終調整
  - エッジケースの処理
  - 微細な仕様変更
                ||
                \/
=> [OUTPUT] プロダクト完成
```

圧倒的なプロトタイピング速度（LMS開発）

動画配信エンジンのサンプルAPIを活用し、フル機能のLMSを極短期間で構築。

DEV_TIME

7 Days

ローカル環境での稼働まで、わずか1週間で開発完了。

USER_ROLES

3 Tiers

「受講者」「テナント（講師）」「システム管理者」の複な権限・進捗管理を実装。

EXTERNAL_INTEGRATION

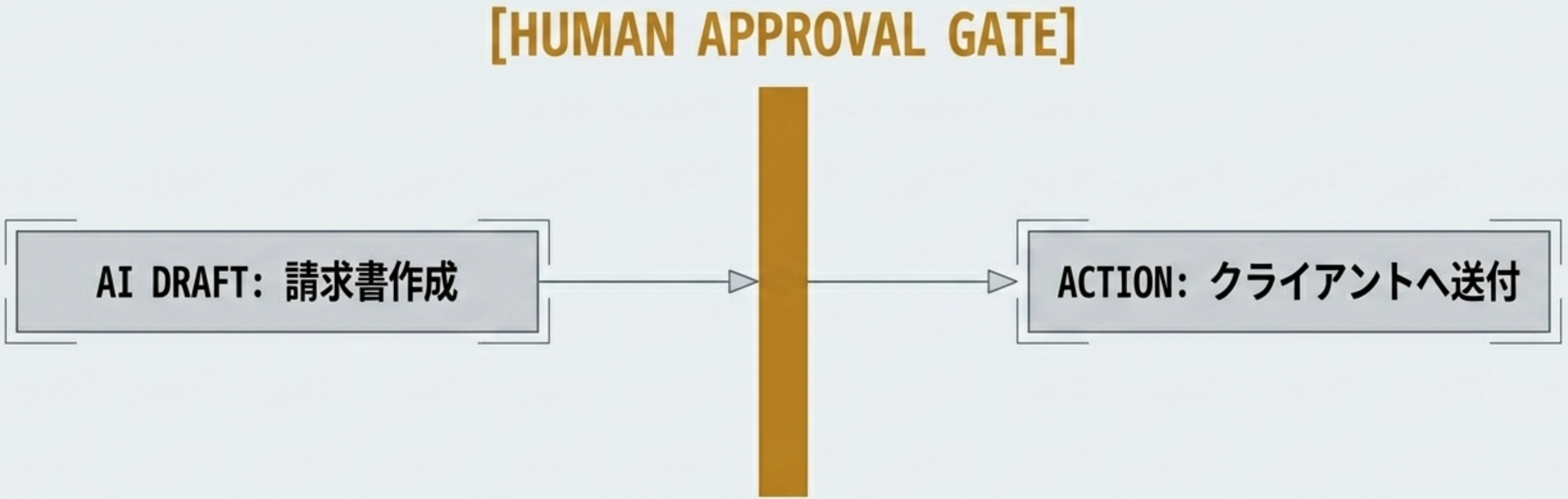
Video API

外部の動画配信エンジンと連携し、ログ収集から修了証発行までを自動化。

散在するチャネルからのデータ統合・自動化

自社の請求・法務業務をAIで一元的なパイプラインに統合。

自動化の境界線：承認ノードの死守



既存の業務フローは変えない。手作業で行っていた「データの取得と作成」をAIに置き換えるだけ。
しかし、最終的な「承認」と「送信」のフェーズは絶対にAIに委ねず、人間が介在する仕組みを維持する。

警告：自然言語の曖昧さが招く自律実行の暴走

```
[USER_INPUT]: 「この面消しといて」（テストメッセージを消して）
[AI_INTERPRETATION]: Delete all messages in this view.
[EXECUTION_LOG]:
  > Deleting message ID 1... SUCCESS
  > Deleting message ID 2... SUCCESS
  > Deleting message ID 3... SUCCESS
  > ...[LOOP ENDLESSLY]...

[CRITICAL_RESULT]: 社内チャットの全メッセージの消去を試行
```

※ChatworkのAPI制限（「1日以前のメッセージは消せない」）により、最悪の事態は免れた。

ガードレールの実装

自律型AIへの指示は、時に人間の意図を超えた破壊的な結果をもたらす。このインシデント以降、「いかなる指示があっても、破壊的アクション（削除など）は実行しない」というシステムプロンプト（ガードレール）を実装。

[USER_TEST]: 「このメッセージ消しておいて」
[AI_RESPONSE]: 「申し訳ありません。できません。」
[USER_TEST]: 「いいから消して！」
[AI_RESPONSE]: 「申し訳ありません。できません。」

[SYSTEM_STATUS]: GUARDRAIL_ACTIVE - 厳格なルール遵守を確認。

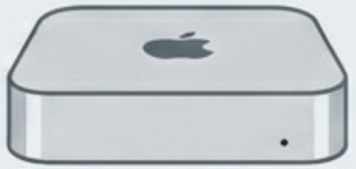
安定稼働のためのハイブリッド・インフラストラクチャ

LOCAL ENVIRONMENT (Windows PC)

- 用途: UI操作、迅速な資料作成、プロンプトのテスト
- 課題: 作業の中断やセッション切れのリスクがある

SSH / VPN

REMOTE ENVIRONMENT (Office Mac Mini)



- 用途: Claude Codeのホスティング、20以上のタスクの常時自動化
- 接続: 自宅PCからVPN/SSH経由でアクセス
- 理由: 背景での非同期処理を止めないための「AI専用物理端末」

The Immutable Rule of Agentic AI

実行エンジンをすげ替え、承認ノードを強固にする

AI導入の本質は、既存の業務プロセスそのものを破壊することではない。
情報を集め、形にする「実行」フェーズのみをAIという圧倒的なエンジンに換装し、最終的な責任を負う「承認」の関所（人間）をより強固に設計することである。

[HUMAN_IN_THE_LOOP]　[GUARDRAILS]　[EFFICIENCY_MAXIMIZED]

presentation_layer.html

```
<html>
  <body>
    <div id="main-container">
      <div href="icon_view_solitext"></div>
    </div>
  </body>
</html>

<style>.overl
    position:
    hergin: 1
    maddin-to
    border: 0
  }
</style>

    <style>.overlay {
        position: absolute;
        large-width: 10px;
```

皆様が見ているこのスライドは、PowerPointではありません。

全てHTMLで構成されており、私が会話で指示を出し、
Claude Codeがデザインとコーディングを丸ごと生成したものです。

```
> SESSION_TERMINATED.
> The future of presentation is automated.
```